

～タイトル つながり～

神奈川県鎌倉市
通所介護みどりや
管理者・相談員 村井 ゆり

1 はじめに

私が管理者をしている通所介護みどりやは、鎌倉市今泉の住宅地の中にある一軒家で、利用者定員10名の小規模のデイサービスです。自然に恵まれ、庭の前に流れる川は毎年ホタルがたくさん飛び、ご利用者様と蛍狩りを楽しんでいます。レクリエーションは、こちらから一方的に提供するだけでなく、ご利用者様と一緒に考え、楽しく過ごしていただけるように考えて活動しています。

2 事例や取組の紹介

この小さいデイサービスで大切にしているのが、「つながり」です。

ご利用者様同士のつながり、ご利用者様とスタッフとのつながり、ご利用者様の家族とみどりやとのつながり、ご利用者様を介してのケアマネ・ヘルパーとのつながり…と、普段の活動の中で、人とのつながりはたくさんあります。みどりやは、この内輪のつながりだけではなく外へ向けても、もっとつながりをひろげていこうと活動しています。

たとえば、毎年春になると、近隣の小学校の新1年生と交流会があります。こちらから小学校へ出向くのですが、子供たちは先生と一緒にいろいろ準備をして待っていてくれます。こちらからも毎年「交通安全」を祈願した大きな作品を作って持って行くのですが、これは、学年があがると子ども達と一緒に作品も持って行ってくださっているとのこと。この交流会をきっかけに、普段の学校活動の地域散策の際にみどりやに寄ってくれたりしています。子ども達と接している時のご利用者様の嬉しそうな表情は格別です。

もう一つ、今年からはじめたのが千羽鶴作りです。折り紙を三角なら折れる方は三角まで、三角をひらいて四角にするところまでできる方はそこまで、鶴を折れる方はその後から最後まで折っていただいています。目の不自由な方も手探りながらも折っていらっしゃいます。一羽の鶴ができるまでに何人もの手が入って、それが千羽集まり、ご利用者様・スタッフ全員の気持ちがこもったあたたかい千羽鶴ができあがりました。そして今年の夏、それを広島市の平和記念公園へ納めてきました。そこには全国から千羽鶴が納められており、平和への願いが一つに集まった場所でした。みどりやの千羽鶴を納めたことで、実際にその場に行かなくても、みどりやのご利用者様と全国の平和を祈る人たちとの「つながり」が感じられました。

この他にも、近隣住宅の方々との小さいつながりも大事にしています。まずスタッフは近隣の方に会ったら笑顔で挨拶をかわすことを心がけています。近隣の方々も、みどりやのことを理解してくださっており、利用者さんと外を歩いている時に声をかけてくださったり、庭に咲いた花をわけてくださったりしています。

3 考察

子供の力は大きいです。これからも小学校や保育園等で、ご利用様と子供達が交流できる機会を続けて作っていきたいと思います。又、千羽鶴は、ご利用様がとても意欲的に参加されており、来年は広島・長崎・沖縄に千羽鶴を送るという目標をたて、すでに折り始めています。

直接かかわらなくても、何らかの方法でつながりができるのです。

4 おわりに

今後は、高齢者が気軽に立ち寄れる『お休み処』を作ろうと動き始めています。人が生きていくうえで、人とのつながりは大切です。その拠点の一つになれるように、これからも活動していきたいと思います。